



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社 イントランス
コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 麻生 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部部長 (氏名) 濱谷 雄二

TEL 03-6803-8100

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,190	14.3	22	96.4	5		11	
29年3月期第3四半期	2,554	95.7	614	40.8	512	34.7	346	45.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 11百万円 (%) 29年3月期第3四半期 346百万円 (45.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	0.32	
29年3月期第3四半期	9.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,197	3,018	48.7
29年3月期	7,247	3,104	42.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,018百万円 29年3月期 3,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	8.9	470	17.5	350	23.9	230	19.2	6.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	37,131,000 株	29年3月期	37,131,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	60,400 株	29年3月期	60,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	37,070,600 株	29年3月期3Q	37,070,600 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が改善し、企業の設備投資も緩やかな増加傾向にあり、企業収益も改善しております。また、景気の先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善が続く中で、政府による各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されておりますが、米国の政策動向、中国を始めアジア新興国等の政治の先行きや政策に関する不確実性による影響等については留意する必要があります。

当社グループの属する不動産業界におきましては、低金利等を背景に継続して資金調達環境は良好で投資家の不動産購入意欲は強いものの、都心のオフィスビルを中心に投資利回りの低下は一段と進んでいる状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、取得した商業ビル・オフィスビル等をエリアの特性やニーズに合わせたバリューアッププランを策定し、不動産がもつ潜在的な価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス（物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス）及び売買仲介等のコンサルティングサービスを行うソリューション事業、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（以下、大多喜ハーブガーデン）にて、ハーブガーデンの運営・企画を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,190,024千円（前年同四半期比14.3%減）、営業利益は22,051千円（前年同四半期比96.4%減）、経常損失は5,226千円（前年同四半期は経常利益512,093千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11,824千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益は346,905千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（プリンシパルインベストメント事業）

販売用不動産の売却活動につきましては、横浜の観光スポットである山下公園近くに立地する稼働率の低いビルの権利関係の調整等により、2物件の事業用開発用地を売却いたしました。一方、仕入活動につきましては、東京都板橋区所在の駅に隣接した好立地な収益不動産の売買契約を締結（平成30年2月決済予定）いたしました。

この結果、売上高は1,651,313千円（前年同四半期比18.2%減）、セグメント利益（営業利益）は169,726千円（前年同四半期比78.8%減）となりました。

（ソリューション事業）

ソリューション事業につきましては、プロパティマネジメントサービス事業において管理受託物件の売却等の影響により管理棟数が減少したものの、賃貸管理事業において安定した蓮田ショッピングセンターの賃料収入および信託受益権にて取得した和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入により堅調に推移しました。

この結果、売上高は395,476千円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は143,728千円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

（その他）

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンは、房総エリアにおける観光スポットとしてテレビ情報番組の放映による宣伝戦略や各種イベントを積極的に開催し来場者数の増加を図ってまいりました。

この結果、売上高は152,392千円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント損失（営業損失）は3,268千円（前年同四半期は7,098千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ714,641千円減少し5,498,959千円となりました。これは主として、現金及び預金が613,706千円増加したものの、販売用不動産が1,178,286千円減少したことに加え、営業投資有価証券が123,779千円減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ335,412千円減少し698,446千円となりました。これは主として、投資その他の資産が329,453千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ1,050,054千円減少し6,197,405千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ570,822千円減少し861,390千円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金660,450千円減少したこと等によるも

のです。固定負債は前連結会計年度末に比べ393,265千円減少し2,317,500千円となりました。これは主として、長期借入金が383,125千円減少したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ964,087千円減少し3,178,890千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85,966千円減少し、3,018,515千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,215,137	1,828,843
売掛金	68,197	64,214
営業投資有価証券	123,779	-
営業出資金	400,000	400,000
販売用不動産	4,068,156	2,889,870
その他のたな卸資産	13,709	14,588
その他	324,620	301,443
流動資産合計	6,213,600	5,498,959
固定資産		
有形固定資産	31,782	25,824
無形固定資産		
契約関連無形資産	609,383	609,383
その他	128	128
無形固定資産合計	609,511	609,511
投資その他の資産	392,563	63,110
固定資産合計	1,033,858	698,446
資産合計	7,247,459	6,197,405
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,036	7,074
短期借入金	55,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	793,050	132,600
未払法人税等	56,857	8,218
賞与引当金	7,157	3,868
その他	514,110	669,628
流動負債合計	1,432,212	861,390
固定負債		
長期借入金	2,700,625	2,317,500
その他	10,140	-
固定負債合計	2,710,765	2,317,500
負債合計	4,142,977	3,178,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	1,070,547	984,582
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	3,104,481	3,018,515
純資産合計	3,104,481	3,018,515
負債純資産合計	7,247,459	6,197,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,554,049	2,190,024
売上原価	1,365,846	1,495,824
売上総利益	1,188,202	694,200
販売費及び一般管理費	573,453	672,149
営業利益	614,749	22,051
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,946	4,533
持分法による投資利益	—	7,474
その他	163	1,185
営業外収益合計	2,109	13,193
営業外費用		
支払利息	36,995	38,450
資金調達費用	66,506	2,020
持分法による投資損失	1,234	—
その他	29	0
営業外費用合計	104,765	40,471
経常利益又は経常損失(△)	512,093	△5,226
特別損失		
投資有価証券売却損	—	1,104
特別損失合計	—	1,104
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	512,093	△6,331
法人税等	165,188	5,493
四半期純利益又は四半期純損失(△)	346,905	△11,824
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	346,905	△11,824

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	346,905	△11,824
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	346,905	△11,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346,905	△11,824
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,018,729	400,617	2,419,347	134,701	—	2,554,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4,786	△4,786	—
計	2,018,729	400,617	2,419,347	139,488	△4,786	2,554,049
セグメント利益又は 損失(△)	799,569	157,735	957,305	△7,098	△335,457	614,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△335,457千円には、セグメント間取引消去△4,786千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△330,670千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,651,313	395,476	2,046,790	143,234	—	2,190,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	9,157	△9,157	—
計	1,651,313	395,476	2,046,790	152,392	△9,157	2,190,024
セグメント利益又は 損失(△)	169,726	143,728	313,454	△3,268	△288,134	22,051

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△288,134千円には、セグメント間取引消去△9,157千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△278,976千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。